



給食だより 6月

毎年6月は「食育月間」です。一人一人が「食」に目を向けて食の大切さや問題について改めて考える良い機会です。

□SDGs と食の関係性

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2030年までに持続可能でより良い国際社会を目指すための国際目標のことです。17の目標と169のターゲットを掲げていて、「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



17の目標の中には、食と深く関わっている目標がいくつかあります。ここでは、3つだけ紹介します。問題を知り、どうすれば目標を達成することができるのか、自分たちにはどんなことができるのか考えてみましょう。

目標2 飢餓をゼロに

2 飢餓を
ゼロに



飢餓（きが）問題はとても深刻で、飢餓人口は2014年を境に徐々に増加しています。世界を生徒40人の教室と考えると、食料に不安のない人数は約30人、量や質は不十分だけど食料は手に入る人数は約6人、残りの4人はその日食べるものも無く明日以降も食べられるか分からないといった状況にあります。先進国を中心に食料が回っていて、世界では人口分の食料を生産しているにも関わらず食べられない人がたくさんいます。

目標14 海の豊かさを守ろう

14 海の豊かさ
を守ろう



人が使っているビニール袋やペットボトル等のプラスチックゴミは年間約3億トンが使われており、その内800万トンが海に流れています。ゴミをエサと見間違えて食べてしまったり、体に巻き付いて窒息してしまうことが起きています。また、人が活動によって生み出される二酸化炭素が海に溶け込み酸性化してしまい、海中の酸素が無くなることで海の生態系が壊れる可能性があります。

目標15 陸の豊かさも守ろう

15 陸の豊かさ
も守ろう



陸には動物だけでなく、植物もたくさんいます。私たちは植物や動物から、食料や医療品、服や家などの生活必需品をもらっています。生物の多様性はとても重要です。ある種が絶滅すれば連鎖的に絶滅していく動物が出てきます。異常気象による森林火災や土地の砂漠化、動物の密漁や違法な取引などたくさん問題を抱えています。このままでは、陸の生態系が壊れ、食べられなくなるもの、使えなくなるものが出てきてしまう可能性があります。